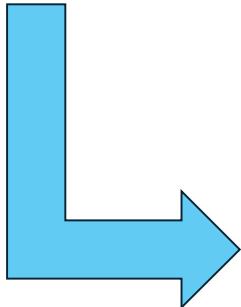


○パターン選択の例

事業所A～Fを運営する法人Xの例です。

なお、ここでの「件」とは、事業所における利用者ごとの請求件数を指します。

法人X	請求状況				計画書提出時期 該当パターン	補助額算定対象 (選択する基準月)
	R7.12月	R8.1月	R8.2月	R8.3月以降		
事業所A	R7.12サービス提供 (100件)	全件 (100件) 請求 (100件審査済み)			A/パターン	12月分全件 (100件)
	R7.12サービス提供 (100件)	98件請求 (98件審査済み)	R8.2に2件月遅れ請求 (100件審査済み)		B/パターン	12月分全件 (100件)
	R7.12サービス提供 (100件)	全件 (100件) 請求 ただし、一部 (10件) に誤りあり (100件審査済み)	一部 (10件) 取下げ、再請求 (10件再審査)		B/パターン	12月分全件 (100件)
	R7.12サービス提供 (100件)	不備等により全件請求できなかつた (0件)	月遅れで全件 (100件) 請求 (100件審査済み)		B/パターン	12月分全件 (100件)
			R8.2に新規開設	全件 (50件) 請求 (50件審査済み)	B/パターン	2月分全件 (50件)
	R7.12サービス提供 (5件) ※感染症の蔓延で著しく提供数が少ない	R8.1サービス提供 (50件)	R8.1分全件 (50件) 請求 (50件審査済み)		B/パターン	1月分全件 (50件)



上記をまとめると、法人Xは以下の組み合わせで計画書提出を提出します。

計画書
法人X 愛知県知事殿
事業所A (基準月：12月)

A/パターンの計画書受付時に提出

計画書
法人X 愛知県知事殿
事業所B (基準月：12月)
事業所C (基準月：12月)
事業所D (基準月：12月)
事業所E (基準月：2月)
事業所F (基準月：1月)

B/パターンの計画書受付時に提出